

戦 評

大会名 第70回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技

男子 ・ 女子 ・ 準決勝 ・ 決勝 会場名：奥州市総合体育館

主 審：小野寺 太 副 審：田中 哲

試合結果

一関修紅 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-16 \\ 23-25 \\ 25-23 \end{array} \right\}$ 1 不来方

戦 評 試合時間 1時間09分

今年の決勝戦も昨年と同じ対戦となった。第1セット、一関修紅・1番武田のスパイクを中心とした攻撃で点差を広げ、追いつがる不来方を圧倒し、セットを先取した。

第2セット、一関修紅は前半リードするものの、不来方は、2番新谷のスパイクを皮切りに逆転に成功し、詰め寄る一関修紅に競り勝ち、セットカウントを1対1にした。

第3セット、終盤まで1点を争う接戦となったが、一関修紅・4番横欠の速攻が有効的に決まり、一関修紅が3年連続11回目の優勝を果たした。

※7～10行にまとめること。

戦評者：秋沢 学

戦 評

大会名 第70回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技

男子 ・ 女子 ・ 準決勝 ・ 決勝 会場名：奥州市総合体育館

主 審：攝待 沙由利 副 審：新沼 美穂

試合結果

高 田 2 $\left\{ \begin{array}{l} 18-25 \\ 25-22 \\ 25-21 \end{array} \right\}$ 1 盛岡誠桜

戦 評 試合時間 1時間18分

3年連続で同じ対戦となった決勝戦。第1セット、盛岡誠桜は4番・千葉、8番・佐藤のスパイクで流れを作る。高田も、対抗するが、最後まで攻撃の手を緩めなかった盛岡誠桜が先取した。

第2セット、一進一退の攻防が中盤まで続いたが、高田は1番・山田、4番・菅野、10番白木澤の活躍で抜け出し、セットを取り返した。

第3セット、両チームのエースの打ち合いとなり、終盤まで緊張感のある攻防を展開する。最後は全員バレーを貫き通した高田がセットを奪い、9年ぶり20回目の優勝を果たした。

※7～10行にまとめること。

戦評者：千葉 啓一

岩手県バレーボール協会